

各務原市洪水ハザードマップ

「各務原市洪水ハザードマップ」は、各務原市内に影響がある、木曾川・長良川・境川・新境川・大安寺川・岩地川の氾濫に備えて、市民がすばやく安全に避難することを主な目的に、浸水の想定される区域と程度、避難場所や避難所などの情報を地図上に示したものです。

大雨時の浸水害に備え、避難場所等の確認や日ごろの準備のためにご活用ください。
※避難場所と避難所の違いは P27 を参照ください。



注意事項

- ①洪水ハザードマップは想定する降雨量の違いから、以下の2種類のマップが存在します。
 - 計画規模降雨
河川整備にあたり洪水防御の目標となる計画降雨により河川が氾濫した場合等を想定
 - 想定最大規模降雨
想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合等を想定
- ②洪水ハザードマップの浸水想定区域はシミュレーションにより求めたものであり、支川の氾濫、想定を上回る降雨、内水による氾濫、土石流の発生、流木による河道閉塞（川の流れがせき止められること）などによる被害の拡大については考慮していません。そのため、浸水想定区域として表示されていない区域で洪水が発生する場合、あるいは想定水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

洪水ハザードマップで確認しよう！

Step 1

- マップで自分の家の位置を確認し、印をつけましょう。
- 自分の家やその周辺、地域にどのような水害の危険があるか知っておきましょう。

Step 2

- マップで自分の家から近い避難場所を確認しておきましょう。
- 避難場所は浸水しないか、浸水する場合は何階から使えるか確認しましょう。
- 万一途中で家族が離れ離れになった時のために、集合場所を決めておきましょう。

Step 3

- 実際に避難場所まで歩いてみて、安全な避難ルートを確認しておきましょう。
- ルート沿いの危険箇所（地下道など水没する危険がある箇所など）を調べておきましょう。
- 夜間や浸水時でも安全に避難できるよう、できるだけ目印（電柱、ガードレール、標識など）のある道路を選びましょう。
- 地域においても、住民同士で情報を出し合いながら、避難ルートを考えましょう。